

視察報告書

参政会 肥山美緒

全国市議会議長会研究フォーラム 参加報告

1. 日程・場所

- ・日程：令和7年8月26日（火）～28日（水）
- ・場所：北海道札幌市 札幌文化芸術劇場 hitaru
- ・参加者：岩村、松本、肥山

2. 視察目的

全国市議会議長会が主催する研究フォーラムに参加し、全体テーマである「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」について全国の知見や取組事例を学び、水俣市議会における議会運営や人材育成に資することを目的とした。

3. フォーラム概要

- ・主催：全国市議会議長会
- ・会場：札幌文化芸術劇場 hitaru
- ・全体テーマ：「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」
- ・内容：基調講演、パネルディスカッション、意見交換会、課題討議

4. 詳細内容

（1日目：8月27日）

【基調講演】

演題：「主権を預かる誇りと責任」

講師：伊吹文明 元衆議院議長

議員は市民から主権を託される存在であり、その責務と誇りをもって活動することが不可欠であることが強調された。特に、政治離れが進む中で透明性・説明責任を果たし、市民との対話を深めることが、なり手不足解消の基盤となるとの指摘を受けた。

【パネルディスカッション】

テーマ：「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」

女性や若者、現役世代など多様な人材が議会に参画できる環境づくりの重要性について議論。議会活動の周知・広報、働き方や制度の柔軟化が課題解決の要点として挙げられた。

【意見交換会】

全国各地からの参加者と交流し、それぞれの議会での課題や工夫について意見を共有した。

(2日目：8月28日)

【課題討議】

テーマ：「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

複数の自治体から、具体的な取組（議会広報誌の刷新、議員報酬・待遇の見直し、若者向け議会体験プログラムなど）が紹介された。

討議では、共通の課題として「議員活動の魅力が市民に十分伝わっていないこと」や「候補者となる人材の裾野を広げる仕組み不足」が指摘された。

5. 視察成果・学び

- ・議員のなり手不足は全国的な共通課題であり、地域社会の持続可能性に直結する問題であることを再確認した。
- ・議員職を「責任と誇りある公的役割」として市民に理解されるよう、積極的な広報や情報発信が必要である。
- ・多様な人材が参画できる制度や環境を整えることが、今後の議会存続と活性化に不可欠である。
- ・他自治体の先進事例から、情報発信の強化、若年層へのアプローチ、議員活動環境の改善が有効であると学んだ。

6. 今後への活用

- ・学校や地域における議会出前講座や模擬議会の実施を検討し、若者の政治参加を促す。
- ・議会広報の充実やオンライン配信を推進し、市民への情報発信を強化する。
- ・議会活動の効率化・柔軟化を進め、多様な人材が担い手となりやすい環境を整える。

7. まとめ

本フォーラムは、「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」という全国的かつ喫緊の課題に焦点を当て、基調講演や討議を通じて具体的な方策を探る大変有意義な機会であった。得られた学びを今後の水俣市議会の議会改革や人材育成に反映し、市民から信頼される議会づくりを進めていくとともに、次世代が魅力を感じる議会の実現に努めていきたい。

